天野秀昭さん講演会報告

「子どものため」って誰のため？

～期待に応えようと「いい子」を演じる子どもたち～

参加者の声

近所でのびのびあそべる場を創ることの大切さを感じるとともに、共感してくれる仲間をみつけることも大切だと思った。（T.K）

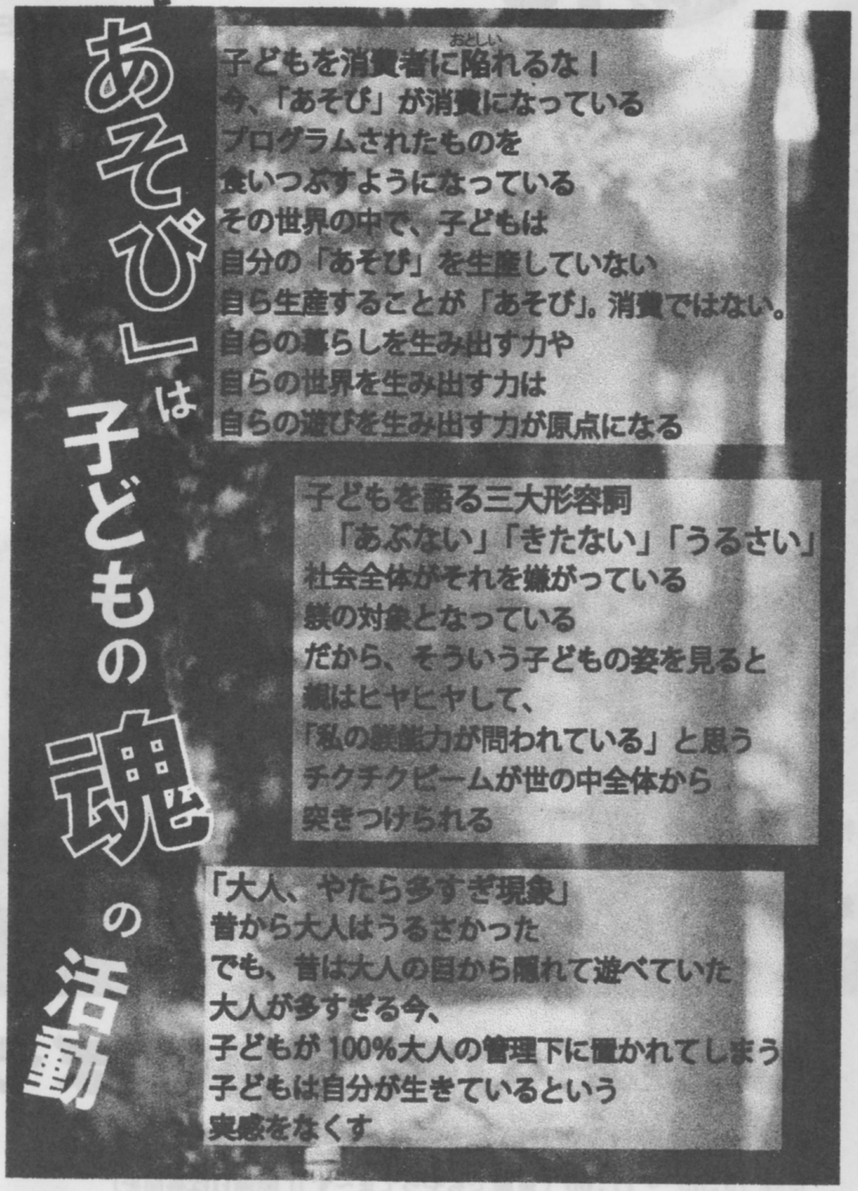
天野さんの「遊育を面白がる大人が新しい時代を創る」の言葉に勇気をもらいました。なかだの森で天野さんの話がきけて幸せです。
（金沢和）

心に深く突き刺さるコトバをたくさん聞けて良かったです。（匿名希望）

親の価値観を押し付けるのではなく、沢山の目で子どもを育てる必要性を感じました。（T.K／3才母）

子どもが自分の考えで遊び、遊びの中で育っていくことがいかに大切なことかを学べました。（T.U／2才母）

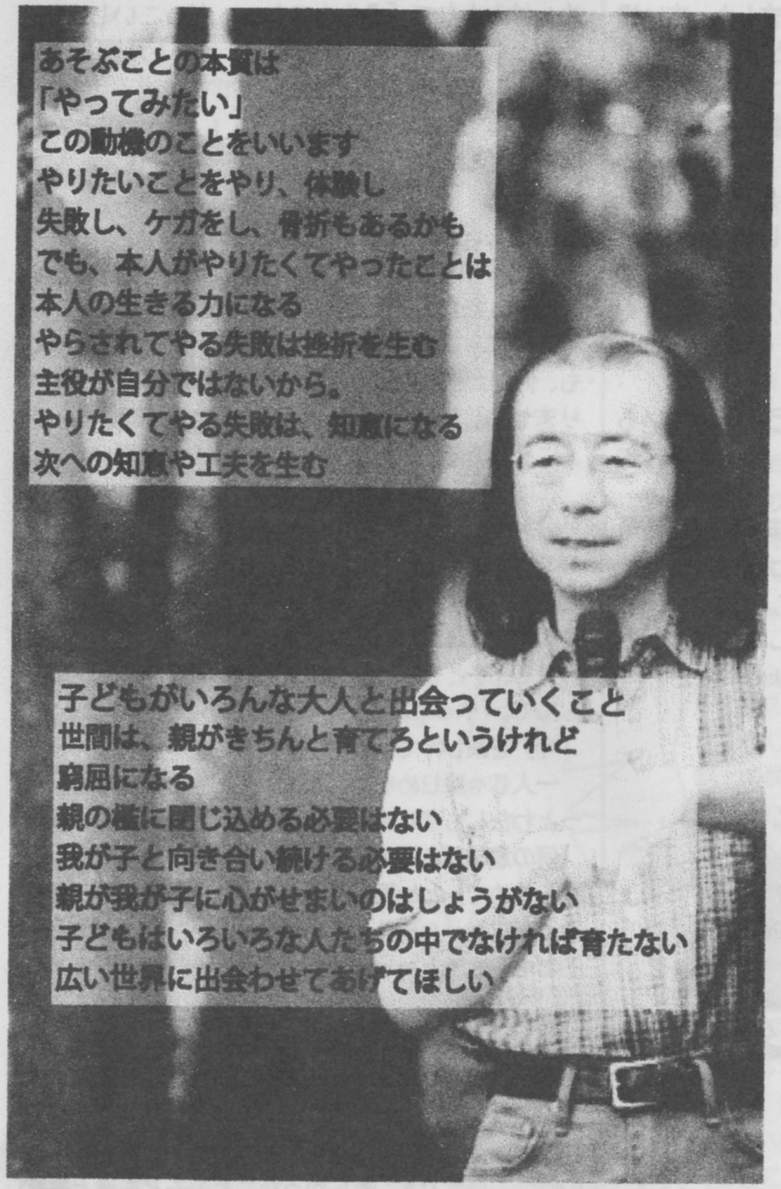
「遊育」今まで逆のことに力を入れて、迷子になっていたと思います。
もっとシンプルに。
（N.F／1,5才母）



今回の講演にも、これだけ多くのお母さん、お父さんが来ていて、同じことを感じている人の多さに安心しました。私自身を変えられるのなら、地域も変えられる、そう思いました。
今後も、もっと子どもたちと地域を育て、育てられていきたいと思います。（Y.S／8,6才）

子育てをしてきて、不安に思っていたこと、「そうかも？」と思っていたことが少しはっきり見えてきました。背中を押されたようでとても頼もしかったです。
子どもと共に育ち直せる。本当に心強い言葉でした。
娘には何が大事か…とことん考えます。
遊育、します！（M.H／2才母）

平成26年9月13日（土）、日本初のプレーリーダー天野秀昭さんをお迎えして「なかだの森であそぼう！」にて、講演会を開催しました。
気持ちの良い秋晴れの一日、大人113人、子ども142人の参加者と共に子どもにとって本当に大切なことをじっくりと考える時間となりました。
今回は、天野さんの言葉の数々と、参加して下さった皆さんの声から当日を振り返ってみようと思います。



講演会での質疑応答では、時間を惜しむように参加者からたくさんの質問がありました。天野さんに最後までとても丁寧に答えて頂き、共に学ぶ貴重な時間となりました。
今回、講演会を聴きっぱなしにするのではなく、「大人のしゃべり場」や「なかだの森」でお互いの気持ちを聴き合い、振り返る場を参加者の皆さんと創ってきました。それぞれがより深く学び、日々の活動や生活につなげていくことで、子どもが当たり前に「子ども」を生きる世の中を創っていきたい！と思います。

自分も消費者になってしまっているところがあると、胸にズキンときました。（M.T／5,2才母）

今の時代の子どもたちが置かれている現状や社会が子どもを潰しかけている危機感が高まり、自分にも何かできないか、これから考えていきたいです。（M.S／8才母）

今まで、子どもに注意、叱ってばかりで、押さえつけてばかりの毎日に大変反省し、大変後悔しました。私自身も人と関わることを積極的にやらなければと思いました。
（景谷かおり／5,0才母）

毎年、まなざしの講演会を楽しみにしています。
（井戸川雅子／8才母）

親の責任を感じると同時に、ふっと心が軽くなりました。遊びの大切さを実感しました。またお話を聞きたいです。
（岩永実紀／3,0才母）

4ヶ月前に娘が生まれ、何をするにも世の中のチクチクビームを感じています。子どものやりたいことをやれる環境を確保していきたいです。
（T.U／0才母）

▲天野さんの著書
「子どもはおとなの育ての親」
「よみがえる子どもの輝く笑顔」
も、ぜひ読んでみてください。